疑問文の文末音調による類型論の試み V1

言語変異研究領域　木部暢子　nkibe@ninjal.ac.jp

研究の始まり

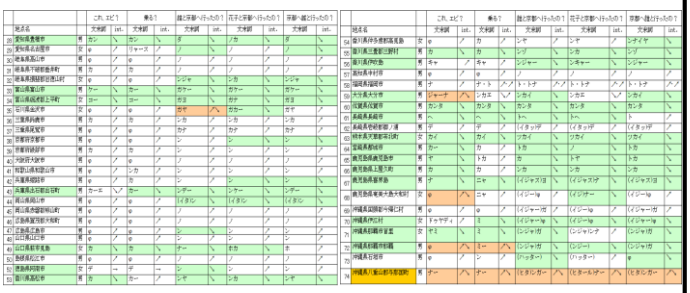
鹿児島方言では疑問文が下降調になる。

木部(1997)「鹿児島市のイントネーション」『諸方言のアクセントとイントネーション』三省堂

他の地域はどうなのだろう。

いろいろな方言で調べてみました

（科研費日本語音声CD）



疑問文を下降調にする方言は結構多そうだ

類型化してみました

○：質問　△：モーダルな意味を含む質問　×：質問ではない。

東京方言:上昇調タイプ	上昇調	下降調	例文
疑問を表す語形式がある	○	△	**何が**欲しい。
疑問を表す語形式がない	○	×	花子と京都へ行ったか。

弘前市方言:下降調タイプ１	上昇調	下降調	例文
疑問を表す語形式がある	△	○	**ドヤテ**　ノムンズ。（どうやって飲むんだろう）
疑問を表す語形式がない	△	○	ネンデアエスタガ。（なかったですか）

鹿児島方言:下降調タイプ２	上昇調	下降調	例文
疑問を表す語形式がある	△	○	**ナイガ**　ホシカナ（何がほしいか） ナイカ　ホシカナ（なにかほしいか） ハナコト　キョートイ　イッタ**カ** （花子と京都へ行ったか）
疑問を表す語形式がない	–	–	–

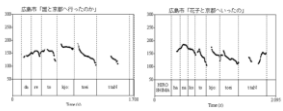
木部(2010)「イントネーションの地域差ー質問文のイントネーションー」『方言の発見　知られざる地域差を知る』ひつじ書房

○：質問　△：モーダルな意味を含む質問　×：質問ではない。

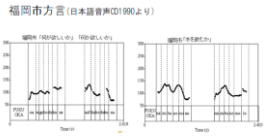
広島市方言:相補タイプ	上昇調	下降調	例文
疑問を表す語形式がある	△	○	**だれと**京都へ行ったん。
疑問を表す語形式がない	○	×	なんかほしいん？　花子と京都へ行ったん？

福岡方言:漸上昇タイプ	漸上昇	上昇調	下降調	例文
疑問を表す語形式が　疑問詞	○	×	×	ナニガ　ホシカナ。　ナニガ　ホシカト。
疑問を表す語形式が　文末詞	×	△	○	ナンカ　ホシカナ。　ミズバ　ノムナ。
疑問を表す語形式がない	×	○	×	ナンカ　ホシカト?　ミズバ　ノムト?

広島県加茂郡（日本語音声CD1991）



福岡市方言（日本語音声CD1990より）



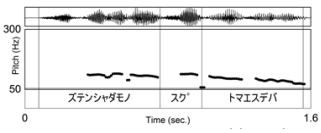
実際の会話ではどうなのだろう

諸方言コーパスで確かめてみました

弘前市方言

コーパスでも下降調で発話されている。

009B：ステンシャダモノ　スグ　トマエスデバ
自転車だもの　すぐ　止まるじゃないですか



	final tone		total
	rising	falling	
WH	1	3	4
Y/N	1	5	6

広島市方言

コーパスでは下降調で発話されている。

(4.8) 53C タマ=ア　アル=カ 「玉はあるか？」	Y/N	↓
(4.13) 240C ソン-クライ=デ　デキ=マショー=カ 「そのくらいでできましょうか？」	Y/N	↓
(4.14) 59C ナンカ　アル=カイ=ナ 「何かあるかな？」	Y/N	↑

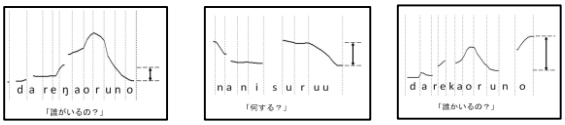
	final tone			total
	rising	falling	rising falling	
WH	1	5	1	7
Y/N	2	6	0	8

方言調査で確かめてみました

（2017年の木曽川方言調査）

	上昇調	非上昇調	合計	上昇平均値	下降平均値
知識要求	0	30	31		-13.01
選択的知識要求	3	6	9	57.27	-11.16
真偽要求	16	1	17	43.75	-0.9
意見要求	1	0	1	3.27	
合計	20	38	58		

木曽川町方言の文末音調



知識要求　知識要求　真偽要求

2018/12/22 国語研オープンハウス